



# 「ひとが育つまち益田」の実現に向けて 「ひとづくり」の取組と若手職員の想い

最終回

市では「ひとづくり」を重要な要素として「ひとづくり推進本部」を設置し、3つの部会で取組を推進しています。

今回は「未来の担い手」部会を担当する協働のひとづくり推進課に所属する若手職員が、取組内容の紹介と「ひとづくり」に対する想いを語ります。

## ひとづくりに関するどのような取組を担当していますか

「ひとづくり」のための環境を整え「ひと」とのつながりや活動を支援しています。

公民館では幅広い年齢層の「ひと」が関わって活動しています。活動を続けることで新しい担い手が育ち、地域の元気につながります。また、図書館は「ひと」と関わりながら作品に触れ、本に親しむ場所でもあります。図書館で開催される「おはなし会」や作家を招いての講座、市民の力をつくる「来ぶらりマルシェ」に携わっています。

## ひとづくりの取組に対する想いを教えてください

大学生の時に地域実習で初めて益田を訪れました。それまで地域の「魅力」とは、有名な建物や特産品があることだと思っ  
ていましたが、益田でいきいきと活躍する人に会って「ひと」こそ地域の「魅力」

であり「宝」であると感じました。益田の「ひとづくり」は、地域の人たちの地道な活動の積み重ねです。このことは、益田の「誇り」だと思います。

私は、益田の「ひとづくり」のために「この人とならこんなことが実現できそう」と思ってもらえるような職員になりたいです。そして、子ども達には「益田には頼りになる大人がいる」「私も益田に帰ってそんな大人になりたい」と思ってもらえたら最高にうれしいです。

## これからどのようなことに取組んでいきたいですか

さまざまな「ひと」と一緒に何かをつくる経験を積み重ねていきたいです。私の「ひとづくり」への想いや考えは、地域の「ひと」と一緒に考え、行動した経験から生まれました。また、昨年、一人として市民劇に参加したことで、さまざまな「ひと」と活動する面白さに気づきました。  
まずは「一緒にやりましょう」からスタートします！



来ぶらりマルシェ

問 市政企画課 ☎ 31・0121

第1号

## 益田の日本遺産かわら版



### ◆ 日本遺産に関する情報を発信していきます

官民でつくる「益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会」では、令和2年6月の「中世日本の傑作 益田を味わう -地方の時代に輝き再び-」の日本遺産認定以降、日本遺産関連イベントの開催による普及啓発や案内板設置などの環境整備に取組んでいます（これまでの取組は、広報ますだ3月号の特集ページをご覧ください）。

なぜ、日本遺産に焦点を当てて活動するのか。それは、「他の地域にはない優れたもの」と認められた中世益田の歴史的魅力や特色を活かし、益田市の知名度向上やブランド化に取組むとともに、観光誘客などによる地域活性化を図るためです。この想いは、実行委員会だけのものではありません。日本遺産認定を契機に地元の魅力を再認識し、発信・活用しようと、地域団体や住民有志による関連イベントなども行われています。

「益田の日本遺産かわら版」では、実行委員会の取組はもちろんのこと、市民の皆さんや民間事業者の取組などを取り上げることで、益田市全体の盛り上がりにつなげていきます。

### ◆ 日本遺産シンポジウムを開催しました



中世益田の価値と魅力に触れ、今後の活用について考える機会として、3月27日(日)にシンポジウムを開催しました。

今後もこうした機会を設ける予定です。ぜひご参加ください。



関連イベントとして「萬福寺の宴」が開催されました。今後、雪舟庭園の来訪者へ提供することを想定し、琴、華道、茶道の3団体が実践形式で参加者をもてなしました。

益田の日本遺産ポータルサイト



構成文化財を楽しむ 巡る WEB アプリ



### 【問い合わせ先】

益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会  
文責：市日本遺産推進室 ☎ 31-0081